



長岡市

## 5市町村と県で環境省に応募 トキと共生する里地づくりを進めます

長岡市は、環境省が公募している本州等での「トキと共生する里地づくり取組地域」に、新潟県および周辺自治体との連名で応募します。詳しくは別紙の新潟県報道資料をご覧ください。

中越大震災や水害があった被災地として全国からの支援や励ましに応えようと、2008年からトキを復興・再生のシンボルにとらえ、分散飼育に取り組んでまいりました。引き続き、人と自然が共生する地域の再生を進めていきます。ぜひ取材くださるようお願いいたします。

### 〈分散飼育のこれまでの取り組み〉

2008年（H20）長岡市トキ保護増殖事業基本計画の策定

トキの近縁種であるクロトキ・ムギワラトキの飼育を開始

2011年（H23）トキ分散飼育センターを寺泊夏戸に開設し、トキの飼育を開始

・これまで49羽を佐渡に移送し、うち41羽が野生復帰



<今年生まれた幼鳥>

産卵数	有精卵数	繁殖関係数						佐渡移送数			野外放鳥数		
		孵化数			巣立ち数			♂	♀	計	♂	♀	計
		自然	人工	計	自然	人工	計						
142	84	19	39	58	38	16	54	31	18	49	26	15	41

2012年（H24）飼育センターに隣接する建物で、トキと自然の学習館を開設

・モニター画面を通じたトキのライブ映像と、資料を公開

2018年（H30）センター隣に観覧棟「トキみ〜て」を開設。トキの飼育を一般公開

・公開から現在までの来館者は約97,600人

### 〈夏休みは「トキと自然の学習館」をぜひ取材ください〉

トキと自然の学習館は、トキを通じ自然環境について考える学習の場です。

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：月曜日 ※祝日の場合は翌日休館

○「トキのひみつを解き明かせ！」特別イベント

（トキに関するクイズラリー）

7月16日（土）～8月31日（水）午前9時～午後5時

○「隠れトキみ〜てを探せ！！」常設イベント

観覧棟内のトキみ〜てロゴマークを全て見つけたらトキカードをプレゼント

○「工作教室の日」（折り紙で作る羽が動くトキや、松ぼっくり工作など）

開催日時：毎月第3土曜日 午前9時30分～午後3時



問い合わせ：環境政策課 里村  
TEL 0258-24-0528

令和4年6月28日

## 「トキと共生する里地づくり取組地域」に長岡市等5市町村と県の連名で応募します

環境省が公募している本州等での「トキと共生する里地づくり取組地域<sup>\*</sup>」に、本日、長岡市、柏崎市、出雲崎町、刈羽村、弥彦村の5市町村と新潟県の連名で応募します。

※ トキの野生復帰を目指す里地（将来的な放鳥を目指す地域）

### 1. 応募理由

- （1）トキの定着は、県が目指す「豊かな自然環境に囲まれ、安全に安心して暮らせる持続可能な社会」のシンボルとなること
- （2）本県は佐渡においてトキの野生復帰の実績があること
- （3）これまでに佐渡から多くのトキの飛来実績があり、トキが定着した場合、佐渡の地域個体群との遺伝的な交流が見込めること
- （4）長岡市に分散飼育施設があり、トキの保護・治療等が可能なこと

### 2. 選定（8月頃）後の動き

- （1）推進協議会の設置  
市町村、県、農業関係団体、林業関係団体などで構成する協議会を設置します。
- （2）生息環境整備や社会環境整備等  
協議会では、佐渡市や有識者等からアドバイスを受けながら、農業者をはじめ地域住民、団体等と協力し、トキの野生復帰に向けた生息環境や社会環境の整備を進めます。



長岡市トキ分散飼育センター

#### 【取組地域】

長岡市の一部（寺泊、和島、与板、三島地域）、柏崎市、出雲崎町、刈羽村、弥彦村

本件についてのお問い合わせ  
環境局環境対策課 葉草  
電話（直通）：025-280-5153  
内線：2710

## 環境省が実施する「トキと共生する里地づくり取組地域」の公募内容について

### 1 環境省の公募概要

環境省では、トキの安定的な存続を図るために、昨年「トキ保護増殖事業計画」を変更し、将来的な本州等におけるトキの定着を目指した取組を事業計画に位置づけるとともに、下位計画である「トキ野生復帰ロードマップ 2025」においても、本州等において複数の地域個体群を形成することを最終目標としたところです。

これらを受け現在、本州等においてトキの定着に向けて生息環境整備等の取組を行う「トキと共生する里地づくり取組地域」を公募しています。

- (1) 公募名 : 「トキと共生する里地づくり取組地域」の公募
- (2) 応募する内容 : トキの野生復帰を目指す里地（将来的な放鳥を目指す地域）
- (3) 公募の主な要件
- ① 取組主体 : 地方公共団体（単独または共同）
  - ② 選定数 : 全国3地域（今回限りの公募）
  - ③ 面積 : 概ね 15,000ha 以上（水田、水辺、林地などの里地面積）
  - ④ その他
    - ・過去にトキの生息実績があること
    - ・トキが生息できる環境整備を行う体制が整備できる見込みであること

### 2 応募・放鳥までのスケジュール

	2022 (R4)	2023 (R5) ~ 2025 (R7)	2026 (R8) ~	2030~2035
県・市町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「トキの野生復帰（放鳥）を目指す里地」に応募（6月末）</li> <li>・「協議会」※の設置</li> </ul>	生息環境整備等の取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体制整備</li> <li>・環境整備</li> </ul>	R8以降、本州での放鳥開始	
環境省	応募地域から里地を選定(8月頃)	里地の生息環境・社会環境整備状況確認 本州放鳥の要件等を決定	放鳥の実施の適否、時期等の判断	【中期的目標】トキが定着し、繁殖できるようになる